

農地・水・環境保全だより第54号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

INTERVIEW

多面に輝く人たち

Vol. 5

県内各地でご活躍の皆様を「多面に輝く人たち」と題してスポットをあててご紹介します。今回は、御浜町・紀宝町で多面的機能支払交付金活動をする御浜地域環境活動組織の事務局をしている、御浜土地改良区のお二人をご紹介します。

事務局長 永田 ゆかりさん

御浜町生まれ、御浜町育ち。
1998年に御浜土地改良区に事務員として就職。
2008年に事務局長に就任。(写真左)

事務員 山田 美嘉さん

大阪府生まれ、御浜町育ち。
2010年に御浜土地改良区に就職。以降12年間
永田さんとともに柑橘農家を支える。(写真右)

「生かされて、生きる」 ～みかん農家とともに～



INFORMATION

みはちいっかんようかつどうせい
御浜地域環境活動組織
国営事業で造成された柑橘の14団地内で、土地改良区の組合員である農家や各団地の地域住民とともに、約290haのみかん畑を守るため、多面的機能支払交付金活動に取り組んでいます。

Q1 事務局長になる時のお気持ちはどうでしたか

A1 (永田) 私は、人前に出るととても緊張するタイプなので、こんな私に事務局長が務まるのか、不安でした。でも、当時同じ町内にあった別の土地改良区の事務局長を女性がしていて、その方が頑張っているのをすぐ近くで見えていたので、私も頑張ろうと思いました。

(山田) 永田さんは今でこそバリバリ仕事ができるイメージがありますが、事務局長に就任したばかりの頃は、総会の度に何度も進行の練習をしていました。見えないところで努力する姿を私はそばで見て応援してきました。

Q2 多面的の活動で工夫していることは何ですか

A2 (永田) 景観形成や活動のPRのために、様々な植物を団地沿いに植えています。毎年知り合いに相談しながら何を植えるかを決めています。今年は夏にひまわりを植えて、その場所を示したマップを作り、広報に力を入れました。「仕事帰りに見てきたよ!」とってもらったり、ブログに写真を載せてもらえたりして、とても嬉しかったです。



Q3 苦手なことを乗り越えられる原動力は何ですか

A3 (永田) 周りの助けてくれる人や応援してくれる人の存在です。中学生の時に担任の先生から「生かされて、生きる」という色紙をもらって、当時は意味が分からなかったのですが、今になってやっと分かってきました。(山田) 農家さんに「改良区がなかったらあかん」と言ってもらえると、とても嬉しいです。

Q4 今後の目標を教えてください

A4 (永田) 書類をデジタル化して、事務の効率化をしていきたいです。また、最近は多面的の活動に参加したり、会計などの役職に就く組合員の女性が増えています。「一緒にやろう!」と声かけをしながら、もっとたくさん女性の女性に活動に参加してもらいたいと思います。

永田さんイチオシ!
御浜町のオススメスポット



「七里御浜ふれあいビーチ」
なんといっても青い海!
いつも海に寄りかかっています

～編集後記～

御浜土地改良区の事務所に行くと、永田さんと山田さんがいつも温かく迎えてくれて、お二人の周りにはみかん農家さんの笑顔があふれています。そんなお二人がいる御浜土地改良区は、農家さんたちにとって、いつでも相談できる、行くと安心できる場所になっていると感じます。

活動組織の紹介

◆ 神戸北沖・山田環境保全会（津市）

設立	平成25年5月（発足時：神戸山田環境保全会）
取組面積	田：6,268a 畑：47a 合計6,315a
主要施設	水路：13.1km 農道：7.2km ため池：3ヶ所
構成員	農業者23名、非農業者52名、合計75名（うち役員数16名）

【地域環境】

私たちの活動区域は、津市近郊で岩田川上流の両岸に沿った北沖エリア（農振地区）と山田エリアの農地で稲作中心の営農地域であります。作付け品種は殆どがコシヒカリで、近年は早期作付け高温障害で品質低下をきたしている状況です。

最近が高齢化に伴い農業をリタイアされる方が多く、担い手へシフトしており、その担い手も受け入れキャパがきつくなっている状況と思われまます。

農業用水路は、北沖エリアでは中勢用水水系でパイプライン化されていますが、耕地整理後二十数年経過しており給水栓劣化漏水が多く、山田エリアにおいてもため池で開口水路のため、水路の沈下や継目劣化による漏水が著しい状況にあります。

これらの状況に鑑み、耕作者（地権者）や担い手への負担軽減対策として、次の三点を重要項目として取り組んでいます。

- ① 山田エリアの2水系は開口水路であることから、通水管理のため次のような対策を実施しています。
 - *新池においては、堰堤補修（土嚢積）と同水路全長（1km）の水路劣化漏水のため、通年改修工事に取り組んでいます。
 - *石神池水路（600m）では、落ち葉等の水路掃除軽減のため水路蓋敷設や通水管理ゲート設置を実施しています。
- ② 北沖・山田の除草作業においては、年2回（7・10月）構成員に向け作業支援を募り実施している状況にあります。
- ③ 草刈作業における危険回避や作業の効率を図るため、急斜面等の場所には防草シート張りを実施しています。

上記以外に近年多くなっている農作物への獣害被害対策として、檻や罾の敷設を行っています（罾免許取得者4名）。

それでは、主な活動状況を紹介させていただきます。

【農地維持】

(除草作業)



(防草シート敷設作業)



(水路蓋敷設作業)



(獣害駆除檻設置)



ゲート等設置工事業業



【地域交流】

(枝豆取り大会：例年10月末実施)



(神戸小学校米づくり体験学習：5年生対象)



(田植え)

(稲刈り)

(神戸小学校さつまいも作り体験学習

: 1・2年生対象)

神戸地区における伝承産業の

注連縄作り講習会：12月上旬開催)



(神戸里山いきもの探検隊：8月実施)

(コスモス畑開園)



【長寿命化】



事務局からのお知らせ

「第14回みえのつどい」の開催について

「第14回みえのつどい」を下記のとおり開催いたします。

- 1) 行 事 名：多面的機能の維持・発揮活動「第14回みえのつどい」
- 2) 日 時：令和5年12月23日（土） 12：45～16：00（予定）
- 3) 場 所：三重県総合文化センター 中ホール・多目的ホール他
- 4) 主 催：三重県、三重県農地・水・環境保全向上対策協議会
- 5) 対 象 者：多面的機能支払活動に取り組んでいる構成員
- 6) 実施内容：現在調整中
- 7) 案内予定時期：令和5年10月末～11月上旬に活動組織への正式な案内を送付予定

事務局では、日頃の皆様の活動を「たより」に紹介しますので、紹介を希望される活動組織の方はどんどん投稿して下さい。

投稿先 〒514-0006 津市広明町330番地
三重県農地・水・環境保全向上対策協議会
TEL 059-226-4825
FAX 059-225-7332